

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月26日

事業所名 児童発達支援センター パステル

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	9	・同性による入浴や、排泄介助が出来ており、午睡スペースや遊ぶ場所もあるよう、児童誘導出来ている。 ・活動によって、部屋を使い分けている。	・利用人数増に伴い、移転計画を実行している。
	2 職員の配置数は適切である	11	1	・配置基準に応じて対応している。	・利用者家族ニーズにより、言語聴覚士を配置した。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	10	2	・音楽で開始時刻をお知らせしている。	・各部屋の構造化(イラストなど)を行っている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	11	1	・児童帰宅後、アルコール消毒や、清掃し、清潔を保っている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している	8	4	・週に1回程度、管理者、主任、児発管でミーティングを持っている。	・PDCAサイクルの活用はしていないので、今後検討していく。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	12	0	・ニーズ調査を行い、家族と面談の機会を設定し、業務改善に繋げている。	・前回の評価表をもとに改善を行っている。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	12	0		・ホームページにて結果を公表している。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	4	・苦情報告に関しては第三者委員会を設置。	・外部評価は行ってないので、今後検討していく。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	4	・必要に応じて、研修会へ参加。	・人材育成を図る為、今後も研修会の参加を行っている。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	11	1	・発達支援や、児童それぞれの個性等に応じて、支援方針を共有し、対応している。	・完璧ではないが、よくなっている。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	5	・アセスメントシートをファイルを通して、閲覧している。 ・専門スタッフごとのアセスメントツールがある。	・OT・STの専門的なアセスメントを行っている。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10	2	・関係者と密な連携が取れるように努力している。	・具体的な支援内容を全職員で共有している。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	12	0	・専門職の意見を取り入れている。	・サービス調整会議を行い、職員と共有を図る。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	11	1	・主任を中心に活動プログラムを作成している。	・活動の目的を持ち、活動プログラムを立案している。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11	1	・他専門職と話し合いながら、プログラム曜日を決めて行っている。	・子どもたちにも分かりやすいよう、月のスケジュール作成を行っている。
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	11	1	・家族と連携を取りながら、作成している。	・個別の対応が主になっているが、今後は、外部との交流会を検討していく。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11	1	・朝礼やスタッフ間で利用者の申し送りなど共有している。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10	2	・必要に応じて、実施。	・振り返りなどの情報共有の場を増やしていく。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	12	0	・空いている時間帯や、送迎終了時に日々の記録は徹底している。	・日々の記録(健康状態)などは、徹底されているが、個別支援計画書との整合性が不十分である為、再確認を行っていく。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	12	0	・児発管や専門職が、モニタリングに参加し、後日、報告し共有している。	今後も、児発管、必要に応じて専門職のモニタリングの参加をしていく。
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	12	0	・児童発達支援管理責任者や、専門職が参加している。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	10	2	・行政と連携を取りながら行っている。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	12	0	・市町村や保健所と連携を図り行っている。	・必要に応じて、他機関と連携を図って進めている。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	12	0	・月1回、嘱託医が訪問し健康観察を行っている。	・現在は、主に家族との連絡を行っているが、主治医との連絡体制も整えている。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	12	0	・園や保護者、行政など関係機関で連携を図り移行を進めている	・モニタリング等により、情報共有を行っている。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	11	1		・必要に応じて、医療的ケアや支援内容の情報提供を行う。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	7	・研修に参加している。	・助言等は受けていないので、今後、必要に応じて行っていく。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	11	・今年度は、感染症の影響もあり、交流を控えている。	・感染症が収束したら、他施設と交流の場を増やす機会を作る。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	8	4	・医療的ケア児の自立支援協議会に参加している。	・今年度より、自立支援協議会の構成員として参加している。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	12	0	・モニタリング等により、保護者とのコミュニケーションを図っている。 ・連絡ノートや電話でのやりとりも行っている。	
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	7	・次年度より指と連携を図り、実施していく予定。	自立支援協議会で評価を受けながら、実施に向けて進めて行く。	
保護者への説明責任	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	12	0	・契約の際に説明を行っている。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	12	0	・保護者へ説明し、同意を得て支援を行っている。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	2	・児発管や職員を中心に行っている。	・相談内容により他機関へ繋げてネットワークを広げて行く
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	11	・今年度は、感染症予防の為、外部との交流は控えている。	・次年度より、交流機会を増やせるように計画を行う。
	36 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	12	0	・日常からの申し送り等、連絡帳や送迎時に聞き取りを行っており、相談や、申し入れに対応を行っている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
等	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	12	0	・月に1回会報を発行し、保護者へ提供している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	12	0	・職員間で周知、徹底を行っている。	・引き続き、徹底を行っていく。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	12	0	・イラスト・写真での提示や、文書に残したり、具体的に説明を行っている。	・不十分な面もあるので、今後行っていく。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	9	・買い物学習などで、近隣店との交流を行っている。	・今後、検討をしていく。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9	3	・年2回の避難訓練を実施している。	・防犯マニュアルを作成していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	12	0	・防災訓練を実施し、災害に備えている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	11	1	・看護師を中心に、発作時の対応が出来るようにしている。	・不十分な面もあるので、今後は共有の場面を多く持つ。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	12	0	・医師の指示書の元、委託業者を情報共有を行っている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	12	0	・報告書を作成し、迅速な対応を心掛けている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	7	・朝のミーティング等で確認をしている。	・次年度、取り組みを行う予定。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	9	3		・現在そのような対象者がいないので、今後は、検討していく。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。